基幹システム再構築に伴うデータカタログの構築【オンラインライブ】（4126122）

システムを構築する究極の目的は経営に必要なデータを獲得するためです。企業の成長に伴い管理すべきデータは膨大になっています。基幹システムの再構築に伴い企業が管理するデータを一元管理する仕組みを導入することが望まれます。データカタログは、企業内のデータに関する情報を集約し、一元化して管理するためのものです。データに関するデータ（メタデータ）を文書化し、利用者が容易に検索・参照できるようにします。

開催日時	2026年6月3日(水) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(レガシーシステム再構築)
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：データ
講師	中山嘉之 氏 （株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン（現：協和キリン）情報システム部長 ） 1982年より協和発酵工業（現・協和キリン）の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	基幹系システム再構築のための構想策定やDXのための基幹系モダナイゼーション戦略の作成に関与される方 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

システムを構築する究極の目的は経営に必要なデータを獲得するためです。
企業の成長に伴い管理すべきデータは膨大になっています。
基幹システムの再構築に伴い企業が管理するデータを一元管理する仕組みを導入することが望まれます。
データカタログは、企業内のデータに関する情報を集約し、一元化して管理するためのものです。
データに関するデータ（メタデータ）を文書化し、利用者が容易に検索・参照できるようにします。
本セミナーは失敗しないデータカタログの構築のノウハウを学ぶものです。

◆主な内容
■データカタログの必要性
・データカタログとは
・データカタログが必要な背景
・システム管理システムの必要性

■データカタログの管理対象
・メタデータの種類と役割
・メタデータの管理項目
・ビジネスメタ、システムメタ、オペレーショナルメタ

■ビジネスメタデータの作成
・はじめにデータモデルありき
・ビジネスメタデータ定義の書き方
・エンティティ定義、データ定義、ドメインデータ定義

■システムメタデータの作成
・実装システムからのキュレーション
・システムメタデータとビジネスメタデータの紐付け
・データリネージの作成と管理

■データカタログの利用
・データサイエンティストによる利用
・システム・アーキテクトによる利用
・システム・エンジニアによる利用

■データカタログの運用保守
・データマネジメントの管理体制
・データカタログ利用状況のモニター
・データカタログのメンテナンス

■データカタログ実装ツールの紹介

■データカタログに関する今後の課題